

感染対策情報 R5年5月

クリニックの感染対策



クリニックであっても基本的な対策は変わりません

受付・待合室

来院した患者の中には、感染症に罹患し症状が出現して来院する患者、感染症にかかったという自覚がなく来院する患者があり、滞在時間や場所によっては感染源になりうるため、以下の対策が必要となります。

* エントランスなどでポスター表示し、衛生管理や予防行動への協力を促す

* 来院者には、「マスク着用」「手指衛生」を促す

* 職員は、**標準予防策**（感染性の有無に関わらず全ての人に分け隔てなく行う予防策）に取り組む



感染症患者を早期に認知すると共に、患者・家族および職員を感染症から守るためには、以下の対応を考慮しましょう。

* 聞き取り（電話相談含む）により、感染徴候の申告を促し、優先診療を実施する

* 感染性の患者とそれ以外の患者を、空間的に分けて対応する（車中待機・診察含む）

環境整備

環境表面の汚染が手指を介して周囲へ拡大することを防止しましょう。

* よく手が触れる場所（高頻度接触面）を

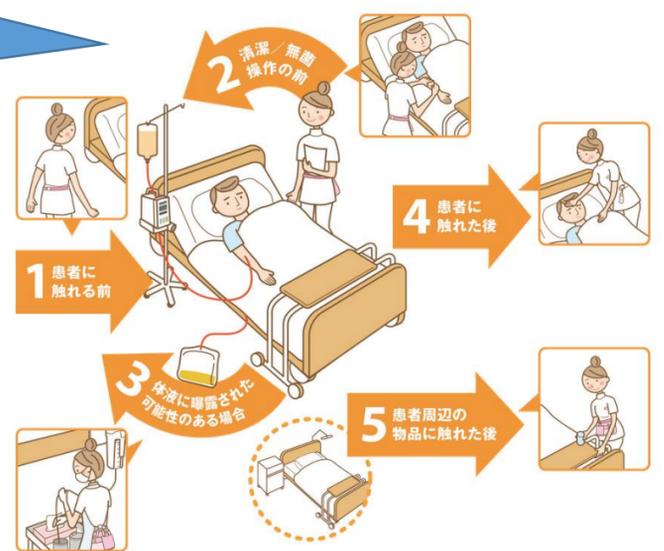
1日1回以上清掃・清拭を行う

* 常に一方向にむけて拭き掃除する

手指衛生

手指衛生に関しては、感染対策情報 No2 で基本的事項を紹介しておりますので、参照してください。

5つの
タイミング
で実施する



血液・体液曝露

【事前に防ぐには】

標準予防策徹底、ワクチン接種で抗体獲得、使用済針の「手渡し」「リキャップ」禁止、安全な作業環境で安全機能付き器材を使用、安全に針を廃棄する

【もし起きてしまったら】

直ちに針刺し部位を洗浄、相手の感染症の有無を確認、当事者の血液検査を実施

個人防護具着脱手順

着用：手指衛生→ガウン・エプロン→マスク→アイガード→手袋

脱衣：手袋→ガウン・エプロン→アイガード→手指衛生→マスク→手指衛生・うがい等

